

日本の歴史と戦国関東の大戦乱に関わる名将がいた

太田資正と

戦国武州大乱

実像と戦国史跡



中世太田領研究会



本書カバー

近年、関東戦国史の関心が高まっている。

そのなかで岩付太田氏は、各所で企画展や他にも関東戦国史に関連書籍の出版が行われており、大河ドラマへの出演を期待する自治体もある。

そのような関心の高まりのなかで、本書は、江戸時代、戦国の英雄と謳われた太田資正の実像と虚像の再発掘したものであり、参考資料を調べあげ、歴史研究と整合性に考察の光を当てる一冊となっている。加えて、現代に残る戦国史跡を著者たちが歩き写真とともに解説を加える。

戦国期、太田資正は関東を席卷する小田原北条に生涯にわたって抵抗した。

彼が、根拠地としたのが、さいたま市にある岩槻（旧称では岩付）城である。

太田資正は、なぜ愛されるのか。：

彼は、東京、神奈川、埼玉の各地に残されている伝説の武将、太田道真・道灌父子の後裔である。あまり意識されていないが、小勢であったとしても、太田資正こそが武州の正統な王者なのである。：

しかし、戦国大名として飛翔しようとしていた太田家の運命は、文明十八（一四八六）年道真の子、太田道灌の死により暗転する。：

その死は、道灌の存在を危険視した主君扇谷上杉の当主定正からの誅殺であった。けれども、この道灌の悲劇は、本来ならば歴史によくあるありふれた主君からの暗殺劇（上意討ち）であり、埋もれ、忘れ去られても不思議ではなかった。：

（本書第一章冒頭より抜粋）

目次

- 第一章 太田資正はどこから来たのか
- 第二章 太田資正と武州大乱
- 第三章 勢力として見る岩付太田氏
- 第四章 現代に残る戦国を歩く



定価(本体 1800 円+税)
A5判・並製本・358頁
ISBN 978-4-89623-128-1

地域歴史

問い合わせ先

まつやま書房

〒355-0017 東松山市松葉町3-2-5
Tel.0493-22-4162 Fax.0493-22-4460

<http://www.matsuyama-syobou.com/>

申込書

中世太田領研究会

太田資正と

戦国武州大乱

実像と
戦国史跡

ISBN 978-4-89623-128-1

定価(本体一八〇〇円+税)

注文数	冊
お名前	
電話番号	
書店名	

まつやま書房 ☎ 0493-22-4162
Fax 0493-22-4460
〒355-0017 東松山市松葉町3-2-5